

令和7年度学校関係者評価シート(最終評価)

三次市立三和中学校

評価項目	区分	評価	理由・意見
目標、目標達成のための方策、評価指標、目標値等の設定の適切さ	中	A と B	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな体の育成目標中の「全欠生徒0を目指す」・・・これはこれで良いが、体力測定とか部活動への取組も方策に入れてほしい。これらも学力と同様に、市・全国の計数と比較するのが良いのでは・・・。 ・現状の課題が適切に分析され、的確な目標や目標値が設定されています。 ・「生徒の道徳性を養う」については、人間としての生き方・在り方に関する道徳性について、アンケート1項目の結果だけで云々できるような単純なものではない。特に教師側の見取りも重要。より丁寧に、細かく、慎重な分析・考察が必要と思われる。 ・適切に設定されています。 ・生徒の主体性、自律的な学習態度の向上を目指した目標設定がされてある。
計画の進捗状況の評価の適切さ	中	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標に沿った計画が立てられ、生徒の実態に即した適切な取組が進められている。 ・適切に評価されています。
目標達成に向けた取組の適切さ	中	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の特性を活かした取組がされています。 ・教科指導や行事を通じ、主体的になる取組がされている。
結果概要と分析の適切さ	中	A と B	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の比較(市・全国平均)が、部分的で全体が網羅されていない。 ・上記理由による。[アンケート1項目の結果だけで云々できるような単純なものではない。特に教師側の見取りも重要。より丁寧に、細かく、慎重な分析・考察が必要と思われる。] ・適切に分析されています。 ・学習調査、生徒アンケートの分析、中学生としての成果が分析されている。
今後の改善方策の適切さ	中	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の時から学習意欲が芽生え、家庭学習が確実に習慣化できることで、中学校での取組み効果も大きくなると思います。2年後に中学校統合が控えている中で、三和中学校への進学する生徒や保護者には不安が大きいことと思います。小中連携し、確かな学力を身につけるため引き続き、一人ひとりに寄り添った丁寧な取組をお願いします。 ・十分な分析のもと、改善方策は適切に明記されています。 ・端末の効果的な活用など、生徒が主体的に学習できる対策が検討されている。
総合評価	中	A と B	<ul style="list-style-type: none"> ・良い所と改善点のセルを色分けする等、プレゼンテーションをもう少し可視化してもらいたい。 ・校長を先頭に組織的かつ着実に実施されており、目標達成に向けて妥当性が認められます。 ・小中の「学校だより」が町内全戸配布となり、学校の様子がわかるようになった。これからも積極的な情報発信を期待する。 ・「自己調整力・・・」や「主体的な学び・・・」「道徳性・・・」については、児童生徒のアンケートによる分析もさることながら、教師や保護者側からの把握(見取り)が加味されるべきではなからうか。 ・保護者アンケートについて：例えば「学校は分かりやすい授業に努めている」や「学校は保護者や地域の思いを反映し教育活動に取り組んでいる」等々、何をもちて判断するのか、その基準が設けられるべきである。 ・子どもから大人になる大成時期(多感)で自他ともに思いやりのある、メンタルの強い、そして物事に挑戦していく生徒になってほしい。色々な成長のご指導まことにありがとうございます。 ・当然のことながら働き方改革は推進されるべきであるが、ほとんどの教師が精一杯の努力をしているはず。要は、仕事量に対して人の数が足りていない状況がある。行政として抜本的打開策が講じなければならない。 ・親・家族の姿(かかわり)が見えない。親の背中を見せてほしい。 ・素晴らしい三和中となるよう願っています。今後は、学校の再配置を見据えた取組も必要になってくるかもしれませんね。 ・生徒の主体性を尊重した行事や、生徒の学習意欲が高まる改善策が明確に示されています。
評価の欄			A:適正である B:適正ではない C:判断できない